

## 7/3 第18回愛南町スポーツ少年大会ミニバスケットボール競技

城辺小学校屋内運動場で「第18回愛南町スポーツ少年大会ミニバスケットボール競技」(愛南町スポーツ少年団主催)が行われました。町内外から4チームが出場して白熱した試合を展開しました。

選手は日頃の練習の成果を発揮し、スピード感あふれるプレーを披露しました。

【優勝】愛南ミニバスケットボールクラブ

【準優勝】広見ミニバスクラブ



▲愛南ミニバスケットボールクラブ



▲広見ミニバスクラブ



▲吉田ミニバスケットボールクラブ  
いぬび



▲平城スポーツ少年団  
ミニバスケットボールクラブ

7/13 <sup>よしまさ</sup>中川吉正さんが高齢者叙勲旭日単光章を受章

長年にわたり地方自治に尽力された功績により、4月1日付けで中川吉正よしまささんが高齢者叙勲旭日単光章を受章しました。

中川さんは、平成4年からおよそ13年間御荘町と愛南町の議会議員を務め、地方自治に尽力しました。

自在園で行われた伝達式では、南予地方局赤坂かつひろ洋局長から勲章と勲記が手渡され、家族や職員から祝福とともに拍手が送られました。

受章について中川さんは、「30年ほど前に父も受章し、後に続きたいという思いを抱いていました。2代続けて勲章を貰えたことをとてもうれしく思う」と喜びを話しました。



▲勲章を手に笑みを浮かべる中川吉正さん

## 7/31 ボルダリング体験教室

旧菊川小学校体育館で「ボルダリング体験教室」が開催され、児童生徒14人が参加しました。オリンピック種目にも指定されたボルダリングは、アウトドアスポーツの中でも幅広い世代から人気があります。町内では体験できないボルダリングに親してもらおうと御荘地区内の4公民館が共同で開催し、うわじまアウトドアスポーツクラブが所有する壁を体育館内に設置して行われました。壁の進み方や体の使い方を同クラブに所属する3人の講師からアドバイスを受けながら積極的に挑戦し、頂上に到達した際には歓声が湧き上がりました。

参加者は、「腕が疲れるけど、少しでも上りよに登れると楽しい」と笑顔で話し、何度も挑戦していました。



▲角度のついた難しい壁に挑戦する参加者

文化団体 活動紹介

【愛南町文化協会に加盟する団体の活動を紹介します】

クハイ カナニ イリマ パパティアレ・パパオヘロ



愛媛  
CATV  
動画



パパティアレ (親子クラス)

▲後列左から 濱名さん、山本さん、宮崎(奈)さん  
前列左から 宮崎(ゆ)さん、宮崎(も)さん

▶会員

氏名		
濱名 怜 <sup>れい</sup>	宮崎 もも	宮崎 ゆず
宮崎 奈穂 <sup>なほ</sup>		



パパオヘロ (大人クラス)

▲左から 猪崎さん、新庄さん、濱名さん、山本さん、  
浜岡さん、中澤さん

▶会員

氏名		
猪崎 志麻 <sup>しま</sup>	浜岡 薫 <sup>かおる</sup>	新庄 忍 <sup>しのぶ</sup>
中澤 彩 <sup>あや</sup>	濱名 怜 <sup>れい</sup>	

講師：山本 展子<sup>のぶこ</sup> 代表：中澤 彩<sup>あや</sup>

▶活動日時 月2回 月曜日

パパティアレ 19:00~20:00

パパオヘロ 20:00~22:00

▶教室場所 御荘文化センター リハーサル室

▶問い合わせ先 御荘文化センター (電話：73-1111)

クハイ カナニ イリマ パパティアレとパパオヘロの皆さんです。今年で活動12年目を迎え、美しいフラを踊ることを目標に月2回の練習を行っています。

レッスンではストレッチや軽い筋力トレーニングを行うことで体幹を鍛えるほか、各クラス共に基礎を重点的に行っています。

教室では現代フラや古典フラと呼ばれる伝統の踊り「カヒコ」を踊り、ノリのいい曲で子どもたちは楽しく、優雅な曲で大人たちはエレガントに、クラスのカラーに合わせて選曲された踊りを踊ります。

フラの魅力について講師の山本展子さんは、「Hula is Life.ただ踊るのではなく、曲の背景にある歌の意味を理解し表現するのがフラです。体も心も人間関係もアロハに基づいて考え、アロハの心を尊重できること」と話し、生徒と共にアロハの思いを踊りにのせています。

毎年夏まつりや町の文化祭、施設を訪問するほか、ハワイアンイベントなどでもフラを披露しており、9月11日(日)には高知県四万十市の平野ビーチでウクレレ奏者の生演奏による野外ハワイアンイベントを開催予定です。

山本さんは今後の目標について、「出会いは一期一会。教室で出会えた人たちと共有できる時間に感謝しながら自分たちのスキルを高め、見ていただく人たちが幸せになってもらえるようなフラをこれからも踊っていきたい」と話しました。

ぜひ、見学にお越しください。



アロハ ALOHAとは、ようこそ・さようなら・ありがとう・I love youなど一つの言葉に複数の意味があるハワイ語の言葉。  
5つのアルファベットには、  
Akahai=思いやり  
Lokahi=調和  
Olu'olu=喜び  
Ha'aha'a=謙虚  
Ahonui=忍耐  
それぞれの意味が込められている。



## 町の文化財に親しむ、「愛南町文化財講座」

7/17 愛南町文化財講座①「ドッキーを作ろう！」  
ドッキーを作り、平城貝塚を知る

町内の児童生徒を対象にした愛南町文化財講座「ドッキーを作ろう！」が御荘文化センターで開催されました。おかし考古学者のヤミラさんを講師に招き、平城貝塚から出土した縄文土器を観察して、それを真似たクッキー「ドッキー」を作りました。

「ドッキー」はヤミラさんが考案したもので、土器を研究していた時に気付いたことをクッキー作りに生かしたものです。土器の粘土の中には白色や黒色の鉱物が混じっており、それを白ゴマや黒ゴマなどで表現しています。参加者は土器を観察し、その色や混じっている鉱物の特徴に合わせてココアパウダーやゴマなどを混ぜたオリジナルの「ドッキー」作りに挑戦しました。

午前と午後合わせて24人が参加し、平城貝塚への理解を深めるとともに、遺跡や考古資料の楽しみ方の一端を体験しました。講座の終盤に参加者からは、「平城貝塚が身近に思えるようになった」、「平城貝塚にはドッキーを作るといった勉強とは全く違う楽しみ方があった」という感想が述べられました。



▲土器を観察しながらドッキーを作る

▼ドッキーの完成！

7/23・24 愛南町文化財講座②「貝塚モンスターを探せ！」  
土の中から未発見の骨が見つかるかも!?

平城貝塚で掘り起こされた縄文時代の土から新たな発見を目指した講座「貝塚モンスターを探せ」が旧僧都小学校で開催されました。

平城貝塚ではこれまでの発掘調査において縄文人骨や土器が出土しており、第5次調査の際には貝塚の土も採取されていました。今回の講座では採取されていた貝塚の土の水洗い作業を行い、通常の発掘調査では見つけられない獣や魚の骨などがいないか、参加者が丁寧にフルイにかけ選別作業を進めました。

貝殻などから溶け出したカルシウムが保存料のような役割を果たしている平城貝塚の土からは、カキやハマグリなどの貝殻はもちろんのこと、50センチメートル程度と推測されるマダいの骨や獣の犬歯・臼歯などさまざまなものが発見され、講師の動物考古学者石丸恵理子さんから当時の食生活について解説がありました。

獣の骨は釣り針として活用されていた可能性があることや、巻き貝は笛に加工されていた事例があることなど、参加者たちは興味津々に石丸先生の話聞き積極的に質問をしていました。

小さいころから恐竜などに興味があり今回の講座に参加した小学校6年生は、「現在は生息が確認されていない魚の骨を発見することができた。細かい作業だけどいろいろな発見があって楽しい」と話しました。



▲丁寧に水洗い作業を行う参加者



▲真剣に石丸先生の解説を聞く参加者

愛媛  
CATV  
動画